

臨床検査専門科目	生物化学分析検査学					
		1単位	演習	平成30年度	後期	2年次
臨床検査学科	必修					
科目名	分子生物学 Molecular Biology					
担当教員	◎堀江修 中村彰宏 竹田真由					
目的	遺伝子・染色体検査に関連する必要な基礎知識と技術を学ぶ。					
目標	遺伝や遺伝子の基本的事項を学び、臨床検査における遺伝子検査および染色体検査の現状と将来の方向性を理解する。最初に、細胞や染色体や遺伝情報の構造・機能の基礎知識を理解し、次に、各検査法および各種疾患との関連について学ぶ。					
他科目との関連	分子生物学実習					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	筆記試験	筆記試験点数				1
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	最新臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学 医歯薬出版.					
参考資料	標準臨床検査学 遺伝子検査学 医学書院 遺伝子検査技術－遺伝子分析科学認定士テキスト 宇宙堂八木書店					
備考 (受講上注意、 事前学習等)	事前には連絡するが、非常勤講師やゲストスピーカーの都合により講義順番が前後することがある。					